

各位

2003年1月16日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年12月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	7.8	3.4	±0日
横浜店	4.0	0.3	±0日
新宿店	1.4	4.4	±0日
関東9店計	4.2	3.0	
大阪店	7.8	6.3	±0日
京都店	6.3	4.5	±0日
関西9店計	6.9	4.6	
全店計	5.3	3.7	
法人事業	5.9		
通信販売事業	19.7		
広域事業(店外)計	12.3		
合計	5.7		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	10.3
婦人服・洋品	8.7
子供服・洋品	5.0
その他の衣料品	10.8
衣料品計	9.0
身の回り品	1.6
家具	16.2
家電	11.4
その他の家庭用品	7.9
家庭用品計	10.3
食料品	4.6
食堂・喫茶	1.0
雑貨	6.9
サービス	8.3
その他	15.2
合計	5.7

概況

百貨店事業	<p>売上高は土曜日1日減や降雪等の天候不順に加え、歳暮ギフト受注前倒しによる反動や季節商材の不振もあり全店計では2ヵ月ぶりに前年実績を下回った。店舗別でも主力大型店をはじめ各店舗とも軒並み低調な結果に終わった。</p> <p>商品別では婦人雑貨(+1.1%)が堅調に推移したものの、主力の婦人服(10.8%)・紳士服(11.0%)が重衣料の動きが鈍く苦戦した他、紳士雑貨(6.5%)、特選衣料雑貨(2.6%)、子供服・ベビー(6.2%)、食料品(4.6%)等全般的に低調だった。</p> <p>また、開催期間を通じての歳暮ギフトセンター売上(4.4%)は前年実績を下回ったが早期展開・送料無料を実施したインターネット受注(+198.5%)は高伸張。おせち料理(+9.0%)も好調に推移した。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口受注の不調で、また、通信販売事業は主力のリビング・婦人関連商材の不振によりともに前年実績を下回った。</p>

以上